

平成29年度当初予算編成について

現時点での方針について、別紙のとおり決定しましたのでお知らせします。

※ 県ホームページでも公表します。

本件についてのお問い合わせ先
知事政策局 橋本総括政策監
（直通）025-280-5082 （内線）2350
総務管理部財政課 旗野財政課長
（直通）025-280-5034 （内線）2170

平成29年度当初予算編成について

1. 基本的な考え方

※ 今後、国の動向等を見極める必要があるものの、県政の重要課題等に対応するための検証・議論をさらに深めつつ、編成作業に着手します。

- 県民一人ひとりの幸福を可能な限り増やし、命と暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす取組を推進します。
- 地方の再生と人口減少問題に対応するため、本県の暮らし易さの総合力を高め、魅力ある新潟県を実現する施策を推進します。

2. 予算編成の視点

- 安心して子どもを産み育て、医療・介護を受けられる環境の実現や、防災対策の強化など、県民の安全・安心のための取組を推進します。
- 新潟の農業を守る施策展開を図るとともに、「21世紀型の農業大県への挑戦」として、暮らせる農業や稼げる農業の実現に向けた取組等を推進します。
- 「日本海側の表玄関」としての基盤を活かし、人と企業が集まり繁栄する新潟県の実現に向けて、県内交通網の更なる充実、県内企業の支援や交流の拡大等を推進します。
- 子ども達一人ひとりが、ふるさと新潟を愛し、将来の夢や希望を叶えることができるよう、質の高い教育、魅力ある教育環境の整備を推進します。
- 従来の予算編成方法を基本として施策の選択と集中を進め、より効果的・効率的な施策体系へ再構築を進めます。
- 事務の効率化、職員の適正配置等による内部管理経費の見直しを進めます。
- 県有資産の流動化、県債の有効活用等による財源の確保を進めます。

3. 予算編成のフレーム

◆ 概算要求基準(一般財源ベース)

- 従来の予算編成方法である部局長枠予算については、各部局が抱える現下の諸課題に適切に対応するため、施策の重点化等を行うことを前提に対前年度同額で設定します。
- 現在と未来への責任を果たすための重点的な取組については、別枠で所要額を措置します。
- 投資的経費(災害関連を除く)については、政府予算、地方財政計画等を踏まえ、編成過程で規模を決定します。
- その他の経費については、所要額を見積もった上で個別に調整します。

◆ 予算規模

- 経済情勢や国の制度変更等を見極めつつ、編成過程において最終決定します。

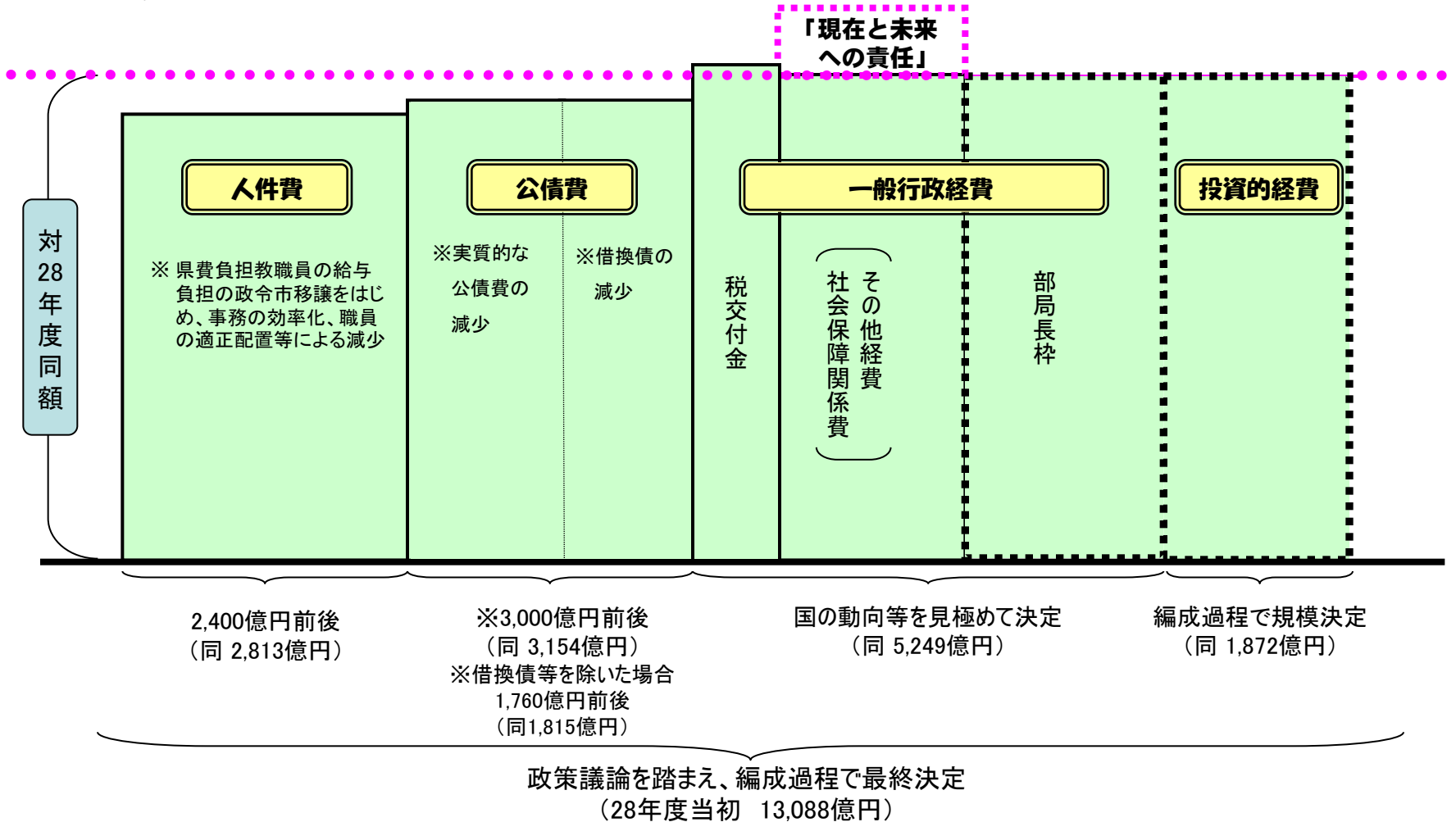
予算編成作業スケジュール（予定）

	国の動向	平成29年度予算編成日程（予定）	県議会
11 月		上旬 予算編成方針決定 下旬 要求書提出期限	
12 月	税制改正 政府経済見通し 地方財政対策 政府予算案	下旬 部局調整状況公表 下旬～1月下旬 主要施策の具体化	定例会 (12月) ↓
1 月	地方財政対策 (詳細)		
2 月		上旬 知事最終調整 中旬 当初予算案記者発表	定例会 (2月) ↓

※ 日程については、現時点での予定であり、今後、国の動向等により変更となる場合があります。

平成29年度当初予算編成のフレーム

<事業費ベース>



※ 数値は、現時点での概算であり、今後、政府予算案、地方財政対策等により変動します。(50億円単位で整理)

※ 部局長枠をはじめ、一般財源ベースで作業するため、事業費は変動します。

※ 県債は30年償還を原則とし、借入は10年債を基本としているため、借換を2回行っています。公債費のうち当年度借換を行うものについては、財源として同額の借換債を発行するため、実質的な財政負担になりません。